

特別会計

特別会計	収入	支出	差引額
国民健康保険事業	20億8,013万円	20億4,519万円	+ 3,494万円
後期高齢者医療事業	3億7,306万円	3億7,212万円	+ 94万円
介護保険事業	22億9,532万円	22億3,437万円	+ 6,095万円
港湾事業	1億8,158万円	1億8,158万円	± 0万円
下水道事業	16億4,412万円	16億2,962万円	+ 1,450万円
合計	65億7,421万円	64億6,288万円	+ 1億1,133万円

企業会計

企業会計	流動資産	流動負債	差引額
水道事業	3億4,286万円	1億0,602万円	+ 2億3,684万円
病院事業	14億1,428万円	10億8,971万円	+ 3億2,457万円
合計	17億5,714万円	11億9,573万円	+ 5億6,141万円

健全化判断比率および資金不足比率

▼市では、健全で持続可能な財政運営を進めるため、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、健全化判断比率および資金不足比率を算定しています。令和2年度の財政状況は、いずれの比率でも国の基準を下回っています。

●健全化判断比率 (%)

指標名	令和2年度市の財政状況	国の基準値 早期健全化(財政再生)
実質赤字比率	実質赤字額なし	13.85 (20.00)
連結実質赤字比率	実質赤字額なし	18.85 (30.00)
実質公債費比率	12.5	25.0 (35.0)
将来負担比率	56.3	350.0 (-)

●資金不足比率 (%)

対象公営企業会計	令和2年度資金不足状況	国の基準値 経営健全化
港湾事業	-	20.0
下水道事業	-	20.0
水道事業	-	20.0
病院事業	-	20.0

【実質赤字比率】財政規模(税収入額に交付税などを加えた額)に対する一般会計の実質赤字額の比率

【連結実質赤字比率】財政規模に対する会計全体の実質赤字額の比率

【実質公債費比率】財政規模に対する一般会計で負担する地方債などの返済金の比率

【将来負担比率】財政規模に対する将来負担する実質的な負債残高の比率

※国が定めた各比率の基準値を一つでも上回った場合は、財政の健全化を図る必要があります。

令和2年度決算は、新型コロナウイルス感染症の対策として、特別定額給付金の給付や感染症予防対策、地域経済対策、医療体制整備などに国や道の交付金を活用して取り組んだことで、一般会計では前年度比約35億円の支出の増額、病院事業では資金不足が解消となりました。

今後も、ワクチン接種をはじめとする感染対策や、地域経済対策を適切に実施しながら、健全で持続可能な財政運営に努めていきます。

◎財政に関する資料は、市ホームページ (<https://www.e-rumoi.jp/>) をご覧ください。

留萌市 財務課

検索



令和2年度の 決算状況について

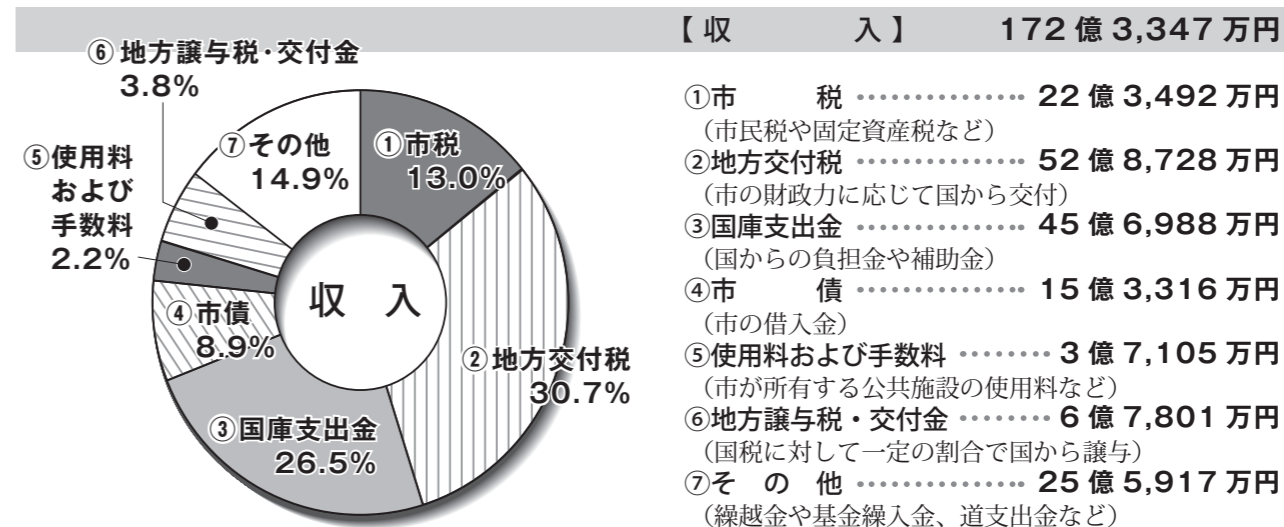
皆さんが納めた市税をはじめ、国や北海道から交付されたお金がどのように使われたかをお知らせします。

問 市・財務課 TEL 56-0025

令和2年度 決算

▼令和2年度一般会計は、収入と支出との差引額がプラス2億9,207万円の黒字決算となりました。

一般会計



【支出】 169億4,140万円

